

西江通信

CONTENTS

- 1-2 現場だより「厚内川砂防工事（補正・明許）」
- 3 就活情報
- 4 Eco Action!
- 5 受賞 Report

秋号

R 6 . 9 . 3 0

— 第 2 1 号 —

BACK
ISSUES



紙面を通じて西江建設とあなたを繋ぐ広報誌。西江の仕事・想い・働く私たちの情報をお届けします



📷 職業体験で測量実習中の帯広工業高等学校の生徒さん（右）。今年 4 月に入社した工事課 小松田さん（左）はすっかり頼もしい技術職員になりました（撮影：情報化推進室 木嶋）

現場だより

厚内川砂防工事（補正・明許）



現場職員



なかじま あきら
中島 陽



さいとう よしひろ
斎藤 嘉仁

☑ 施工場所：浦幌町

☑ 施工期間：令和6年6月20日～
令和7年3月21日

☑ 発注者：十勝総合振興局 帯広建設管理部

☑ 請負者：西江建設株式会社

☑ 請負金額：252,780,000 円

☑ 進捗率：18.6%（9月末時点）



工事概要

厚内川は、厚内川水系に属する二級河川であり、平成23年10月に発生した豪雨以降、土砂災害発生の危険性が高まっています。本工事施工箇所の下流域にある100戸を超える家屋や500haを越える耕作地などの被災防止を目的として、砂防設備（遊砂地工、砂防堰堤工、流木捕捉工、山腹工）の整備を進めています。

厚内川流域では、風化土砂が堆積された長大法面が存在し、豪雨時には河道内への多量の土砂流入による洪水氾濫の発生が懸念されています。このような状況から、発生源対策として風化土砂の掘削、除去や吹付法砕工（※1）により、法面を安定させる山腹工を実施するものです。

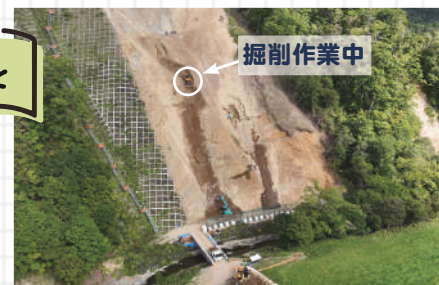
本工事では、過年度施工済みの箇所に続いて法面の掘削（ $V=6,300 \text{ m}^3$ ）を行い、掘削完了後、吹付法砕（ $A=3,700 \text{ m}^3$ ）を施工します。高所及び急傾斜地での施工のため、気象状況の把握に努めるとともに、日々の不安定土砂の確認や、掘削機のアンカー、親綱固定箇所の点検を確実に行之、安全管理および品質管理にも十分に留意し施工しています。

※1 吹付法砕工は、崖や法面の崩壊防止を目的として多く取り入れられている工法です。法面を掘削、支持地盤を露出させた後に法面上に金網を敷設し、配筋を行った格子砕（本工事は2m格）をアンカーにより固定し、専用の吹付機により斜面や格子砕内にモルタル吹付けを実施、高所や凹凸のある斜面でも施工できるのが特徴です。

CHECK



掘削作業中



アンカー

ワイヤー



本工事では「法面掘削機」という重機を用いて施工しています。法面掘削機は、十分な強度を持つ2本のワイヤーで法面上部に設けたアンカーと接続することで、急傾斜地での掘削作業が行える重機です。

また、リフティング装置が搭載されているため、高所の傾斜面でも車体を水平に保ちながら掘削作業ができる優れものです。

人力による掘削では、1日の施工量が限られ地盤の崩壊や落石等による危険が考えられますが、法面掘削機を導入することで、効率良く、かつ安全に施工ができるようになりました。



Nakajima Akira



氏名
中島 陽

入社年
平成 25 年 4 月

所属
工事部 工事課 工事長

出身校
帯広工業高等学校

趣味
サッカー観戦
(日本代表・コパ・リベール杯)

今年のコンサドーレ札幌は
J2 降格の危機です…

Saito Yoshihito



氏名
斎藤 嘉仁

入社年
令和 3 年 4 月

所属
工事部 工事課

出身校
苫小牧工業高等専門学校

趣味
モータースポーツ

見るのも出場するのも
楽しいです!

今回の現場では、協力業者さんをお願いする部分が多くあります。そのため、お互い効率よく施工を進められるように、打合せや事前準備を早めに行うよう心がけながら進めています。

01
この現場において
大変に感じることは
ありますか?

今回の現場はまだ始まって 3 か月。工事はまだまだこれからなので、日々現場での課題などを順番にクリアしていきながら、すべてが完了した時に得られる達成感や解放感を楽しみに、頑張っています。

02
この現場において
最も達成感を感じる
ことはなんですか?

現場関係者が安全に施工できる環境を整えること、施工品質をより良くすることを目標に取り組んでいます。そのためにも、みんなが気軽に意見できるような現場の雰囲気作りを日頃から心がけています。

03
仕事のこだわりや
目指す技術者像を
教えてください

今回の現場は今まで全くやったことがない工種で、設計なども初めて見るものが多いです。

知らないことがたくさんあるので、毎日学校に通っているつもりで、日々現場で学んでいます!

毎週金曜日の作業終了後は、「一区切りついた!」という安心感と、「今週も頑張った!」という達成感を強く感じます。土日はしっかり休んで、また一週間頑張ります!

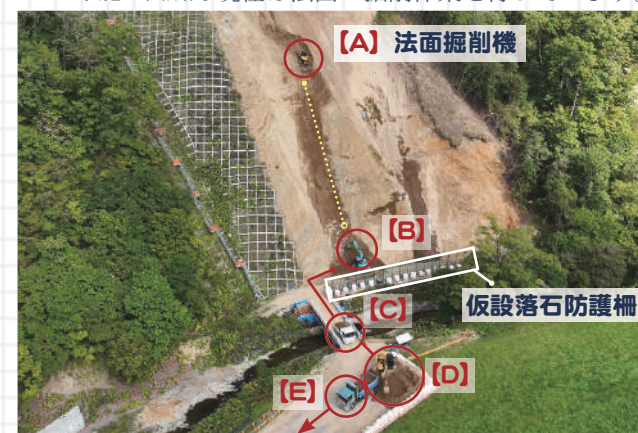
「筋道を立てて考えて、それを貫き通す」。そんな技術者になりたいと思っています。

入社してまだ 3 年目ですが、目標を持って頑張っていきます。

PHOTO DATE



カメラ 全景 (写真上・左は過年度施工済の箇所。赤枠内が本工事施工箇所)。現在は法面の掘削作業を行っています。



カメラ A: 法面掘削の作業地点 / B: 掘削した土砂を回収
C: 小型ダンプで D 地点まで運搬
E: 大型ダンプで土砂受入地まで運搬



カメラ 仮設落石防護柵と土のう (写真右) を設置し、安全対策を行っています。

就活情報

インターンシップ

8月中旬から9月上旬にかけて、夏期インターンシップおよび職場体験（高校生向け）を開催し、北海道科学大学から9名（3年生）、札幌工科専門学校から1名（2年生）、帯広工業高等学校から1名（2年生）、計11名の学生が参加してくれました。地上型3次元レーザースキャナーを使用した測量実習、ドローンの操縦体験など、建設DX（※1）が進む現場を体験しました。まだまだ暑い中での実習となりましたが、たくさんの知識を吸収しようと熱心に取り組んでくれました。

※1 建設DX（デジタルトランスフォーメーション）
デジタル技術を活用して、建設現場の生産性向上や業務効率化を図る取り組み

参加してくれた皆さん、
ありがとうございました！
卒業後はぜひ私たちと一緒に
働きましょう！



学生のコメント

思っていたよりも
始業時間が遅く、終業時間が
早いということが驚きでした。
（始業 8:00 ~ 終業 17:00）

膨大な部品の全てを、
大きさを測ったり写真で記録を
残していたり、細かなところまで
丁寧に管理されていることを
知りました。

ICT が、コストや時間、
労力の削減につながって
いることを実感した。建設業が
より働きやすい環境に変わって
いるんだと感じました。

肉体労働が多いイメージ
だったのですが、施工管理の
業務内容を
知ってインテリ系のイメージに
変わりました！

西江建設では、
完全週休二日制や
毎週金曜日のノー残業デーなど、
従来の建設業と働き方が
変わっているんだと感じました。

高校から土木のことを学んで
きたのですが、自分の知っている
器械よりもすごく進化してい
びっくりしました。



<見学現場>

北海道開発局 帯広開発建設部／帯広広尾自動車道 芽室町 土狩大橋耐震補強工事
十勝総合振興局 帯広建設管理部／パンケ新得川砂防工事（補正・緑越）

インターンシップの様子



十勝管内で施工中の現場を見学。実際の現場を見て、公共土木工事のスケールの大きさに驚いた様子でした。



現場代理人による説明に耳を傾けている様子。様々な工種で施工されている現場に興味津々です。



現場実習ではレベル、光波測距儀などを用いた測量など、現場技術員の仕事を体験してもらいました。



地上型3次元レーザースキャナーを操作している様子。初めて使う最先端機器の性能に驚いていました。



たくさんのご参加ありがとうございました！また会える日を楽しみにしています！

十勝総合振興局／畑地帯美蔓高台外1地区72工区
畑地帯札内川右岸南部外1地区71工区

当社では、WEB説明会などを随時開催しています。ぜひお気軽にお問い合わせください！

EcoAction!

NPO 法人十勝多自然ネット

NPO 法人十勝多自然ネット(※1)は、市内の小河川において「水辺の体験学習会」を開催しました。当社からは6名(※2)の職員がスタッフとして参加しました。

参加した児童たちは、ドジョウやウチダザリガニ、ミナミヌマエビなどの川に生息する水生生物をタモ網を使って上手に捕獲しました。捕獲した後は、実際に触って手触りを確かめたり、小さな水槽に移してじっくり観察を行いました。

ガイド役を務めた工事課 妹尾 慎一郎 次長・土木課 田中 肇 課長代理は、「なぜこの川に生息しているのか」「特定外来生物とは」「この生物がいることでどんな悪い影響があるか」「川遊びの心得」などを説明。児童たちは、身近な生き物と触れ合いながら、水や自然と共存していくことの大切さを学びました。

※1 当社社長が理事長を務め当社職員も参加する特定非営利活動法人 (Non Profit Organization)

※2 工事課 妹尾次長、土木課 田中課長代理、土木課 佐藤課長代理、業務課 岩本さん、経理課 吉川さん、情報化推進室 木嶋さん

水辺の体験学習が始まった経緯

平成21年、当時の帯広土木現業所（現在の十勝総合振興局 帯広建設管理部）より、北海道が管理する中小河川を利用した環境教育に関して協力依頼があり、当法人と帯広土木現業所（当時）、帯広市教育委員会の3者で、平成22年3月24日に「小河川を利用した環境教育に関する覚書」を調印しました。

1. 川での実体験を通して、川の役割や川にかかわる生き物などについて関心をもち水環境の保全について理解を深めるとともに、地球全般の環境保全に関心をもち参加できる人材を育てること。
 2. 地域社会とのかかわりを深め、地域住民同士の交流を促進すること。
- これらを目的として、平成22年度より小学校等の水辺体験学習を支援しています。

【NPO 法人十勝多自然ネット 公式ホームページより】

NPO 法人十勝多自然ネットでは、体験学習以外にも
水辺環境の調査研究・保全、清掃活動、
環境教育などに取り組んでいます。
活動の様子はホームページからご覧ください。



東小学校



日付：7月3日（水）／場所：発祥の地公園／参加人数：小学3年生30名



豊成小学校



日付：8月28日（水）／場所：機関庫の川／参加人数：小学3年生102名



開西小学校



日付：8月30日（金）／場所：帯広川伏古地区／参加人数：小学3年生39名



緑丘小学校



日付：9月11日（水）／場所：うツベツ川／参加人数：小学4年生76名



受賞 Report

優良工事表彰（部長表彰）、担当技術者表彰

7月31日（水）、帯広第2地方合同庁舎において、令和6年度 北海道開発局 優良工事等表彰式が執り行われました。

令和5年度施工の「十勝川改修工事の内 中札内地区外水防拠点工事」（発注者：北海道開発局 帯広開発建設部）（現場代理人：工事課 小川真司工事長、監理技術者：工事課 渡部勝幸担当課長）において、北海道開発事業の推進と技術の向上に貢献したとして、帯広開発建設部 時岡真治部長より優良工事表彰（部長表彰）を受けました。

合わせて、監理技術者を務めた工事課 渡部勝幸工事担当課長が担当技術者表彰を受けました。

当社では、今後も引き続き高品質な施工を続け、社員一丸となって取り組んでまいります。

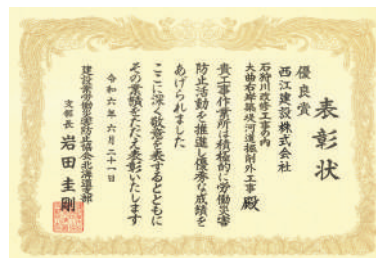


建設業労働安全衛生表彰

6月21日（金）、令和6年度 北海道建設業労働災害防止協会 北海道支部 安全衛生表彰式が執り行われました。

当社が令和5年度に施工した「石狩川改修工事の内 大曲右岸築堤河道掘削外工事」（発注者：北海道開発局 札幌開発建設部）（現場代理人：工事課 中島陽工事長、監理技術者：工事課 村田高広担当課長）において、労働災害防止活動を推進したとして優良賞を受賞しました。

当社では、今後も引き続き安全な施工を続け、労働災害ゼロを目指して取り組んでまいります。



10月14日（月）「スポーツの日」のため休業

11月4日（月）「文化の日」の振替休日のため休業

12月27日（金）次回「冬号」発行、仕事納め

Instagram



YouTube



WebSite



西江建設株式会社 〒080-0034 帯広市西4条北2丁目20番地
TEL:0155-25-9105 MAIL:info@nishie-co.jp

